

## 船舶事故調査報告書

平成23年5月19日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 石川 敏 行  
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成22年3月7日（日） 22時30分ごろ
発生場所	長崎県西海市松島北方沖 松島港釜ノ浦防波堤灯台から真方位013° 550m付近（概位 北緯32° 56.7′ 東経129° 37.1′）
事故調査の経過	平成22年3月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ふさの、5トン未満 292-31925長崎、個人所有 3.95m (Lr) × 1.46m × 0.62m、FRP ガソリン機関、7.30kW、不詳
乗組員等に関する情報	船長 男性 75歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和54年3月16日 免許証交付日 平成20年1月15日 (平成25年2月5日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	左舷船首部及び船底に擦過傷
事故の経過	船長は、平成22年3月7日19時30分ごろ、本船で熊本県の天草に行くので4～5日間留守にする旨を知人に告げたのち、19時50分ごろ長崎県佐世保市相浦港でタクシーを降り、船だまりの方に向かった。 22時30分ごろ、船長から「松島沖の岩場にボートが乗り揚げたので、助けてほしい」との110番通報があり、借り上げた漁船で救助に向かった警察官が、23時19分ごろ松島北方沖のコ瀬南端付近の岩場に乗り揚げている本船を発見し、23時38分ごろコ瀬北端付近に救命胴衣を着用してうつ伏せで浮いている船長を発見した。 船長は、来援した海上保安庁のヘリコプターによって救助され、病院に搬送されたが、のち溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風速 約5m/s 海象：潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約135cm、波高 約1.5m 月齢：20.5日 本事故当時、長崎県西彼杵半島地域に強風注意報が発表されていた。

その他の事項	コ瀬は、松島北方沖約400mに位置する南北の長さ約200m、幅約10～20mの干出岩帯である。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 本船は、松島北方沖を航行中、コ瀬南端付近の岩場に乗り揚げたものと考えられるが、船長が死亡したことから、乗揚に至る状況を明らかにすることはできなかった。 船長の死因は、溺死であった。 船長は、本船が乗り揚げたのち、落水した可能性があると考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、夜間、本船が松島北方沖を航行中、コ瀬南端付近の岩場に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	